

# 12月の園だより

2019年11月25日発行  
名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園



## 暗闇で輝く光

園長 加藤 明宏

ここ数日の気候は、一気に冬へと向かう気配です。しかしこの気配が、子どもたちも教職員も、アドベントからクリスマスに向かう準備が加速しそうで、ある意味安心しています。過日は保育参観に多くの方々がおいいただき、ありがとうございました。少し早かったのですが、お家の方と聖歌（こどもさんびか）を共に歌うことができ感謝でした。

キリスト教の暦では、アドベントは待降節といってラテン語で「来臨」という意味です。イエスさまの降誕は待ちに待った救い主の来臨であり、闇夜を照らす光の到来を、心を落ち着けて静かに待つ大切な時です。アドベントからクリスマスまで、それぞれの意味を確認しながら子どもたちと過ごします。別途お配りしている「アドベントに関するお知らせとお願い」も、ゆっくりとご覧いただければと思います。

柳城・豊田幼稚園のページェントは、年長児がマリア・ヨセフ・羊飼い・博士・天使などさまざまな役割を演じます。そして年中児は聖歌隊として多くの聖歌を歌います。年少児・満3歳児（もも）は、うしやにわとりなど動物たちを演じます。ページェントの中で、子どもたち、お家の方々、教職員が、ともに歌う時があり、それが先日歌った「グローリア」と「よろこびうたえハレルヤ」です。礼拝の子どもたちの入退場では、お家の方々の「きよしこのよる」がBGMになります。今から心待ちにさせていただいて、一緒にクリスマスの喜びを分かち合えたらと願っています。

今月の主題聖句は、「光は暗闇の中で輝いている」（ヨハネによる福音書 1章 5節）です。暗闇とは、弱さや醜さを持った私たちが生きる社会、平和や平等を脅かす紛争や争いごとと言えるかもしれません。この闇を照らす光となり、私たちを支え、励まし、希望を与えてくださるのが、救い主として生まれたイエスさまと言えるでしょう。

子どもたち、お家の方々、教職員など、みんなで創り上げるクリスマス礼拝とページェントが、イエスさまの誕生を心から喜び、この世の暗闇を照らす光になることを信じています。



2019年度の年主題：ことばに満たされて～ひびきあう～

12月の主題	12月のねがい
喜 び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスの本当の意味を知り、イエスさまのお誕生を喜び祝う</li> <li>・喜びや感謝・賛美を心を合わせて表す</li> <li>・イエスさまのみこころに叶った自分たちにできることを考え、心や手を動かす</li> <li>・世界の国々の人々のことを知る</li> </ul>
聖 句	光は暗闇の中で輝いている。 （ヨハネによる福音書 1章5節）

## 12月の予定

マークの説明…T=体操

日	月	火	水	木	金	土
1 	2 保護者のクリスマス会	3 T年長	4 T年中・年少	5 誕生会 避難訓練	6 アドベント3週	7
8	9 はぐくみ(要予約)	10 クリスマスハーバルA 牛乳パック回収	11 クリスマスハーバルB	12	13 アドベント4週	14
15	16	17 クリスマス祝会A	18 クリスマス祝会B	19 焼いもパーティー	20 終業式 (一日保育)	21 年長キャロリング (松坂屋豊田店)
22	23	24	25 諸費用引落し	26	27	28
預 かり 保 育						
29	30	31				

